

前略：

気候の安定しない日が続いておりますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。本日はモデリング&シミュレーションの公開セミナー（無料）の案内をさせていただきます。

私が東大に居る頃から10年以上続けている“PKPDセミナー”と呼んでいるセミナーがあります。アカデミアから4-5名、企業から約25名程度で、総計30名のものが、月に一度集まり、18:30-22:00に行っているセミナーです。論文情報や、その他データベースなどをもとに情報を集め、数理モデルを基盤にした解析を行い、最終的には論文化を目標とし、企業参加者、アカデミア参加者ともに相互ブラッシュアップを目指したセミナーです。企業参加者は、薬物動態研究に関わるもの、臨床開発に関わるものがほとんどです。杉山がほぼ全員の参加者に研究課題を出して、数ヶ月に一度、その成果を発表するというのを継続して行ってきました。既にこのセミナーから多くの論文が発表されています。動態学会などでも、本セミナーのロゴをつけた発表をご記憶の方もいらっしゃると思います。

これまでは非公開で行ってきましたが、その成果の一部を、年に2回、公开发表しようということになりました。9月3日のセミナーはその第一回セミナーとなります。

近年、米国FDAが中心となり、生理学的薬物速度論モデル(PBPK model)などの数理モデルによる薬物動態予測を、臨床試験の必要性の判断、投与量の設定に活かそうという動きがあります。PBPK modelは、薬物間相互作用の予測、高齢者、小児、腎障害時、肝障害時、における薬物動態・薬効などの予測にも適用されようとしています。本領域の進歩とともに研究生活を送ってきた私にとっても、予想をはるかに超える発展です。

本領域の最先端をご理解頂くためにも、どうかご参加下さいますようお願いいたします。通常の参加メンバー(30名)以外に35名程度の余裕しかありませんので、お早めにお申し込み下さいますようお願いいたします。先着順、会場のキャパシティまで受け付けたいと思います。

2013年7月14日

杉山雄一  
理化学研究所 イノベーション推進センター

草々